

提出 順番	No. 5	平成30年11月27日 午前・午後11時23分受領
----------	----------	------------------------------

平成30年11月27日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 小島 智恵



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 アイヌ文化の新たな交付金活用による施設整備について</p>	<p>政府はアイヌ民族の伝統や文化に基づいた「地域振興」、「産業振興」に取り組む自治体を対象に、新たな交付金を創設する方針を固め、来年3月までの新法成立を目指し、来年度予算に関連経費を盛り込むとの報道があった。</p> <p>わが町の第6期総合計画及び第5次生涯学習中期計画では、本町の歴史的資料やアイヌ文化資料を収集、保存、展示している「ふるさと館」や「蝦夷文化考古館」は、老朽化が進んでいることから施設整備の検討を行うとしている。今後の方針と新たな交付金の活用について伺う。</p>
<p>2 大規模停電発生を受けて今後の課題について</p>	<p>今年9月6日に発生した北海道胆振東部地震（M6.7）は震度7を道内で初めて観測し、土砂崩れに巻き込まれた方など犠牲者は41人を数え、今もなお余震が続く中、復旧・復興が進められている。道内全域約295万戸では、地震により道内最大の火力発電所である苫東厚真発電所が緊急停止し、系統の他発電所が設備保護のため順次停止したことにより、史上初の大規模停電（ブラックアウト）が引き起こされ、住民生活や物流、経済に深刻な影響を与えた。冬期間であれば凍死者が出た可能性もある。</p> <p>過去の一般質問（平成24年6月）では、泊原発全てが停止したことにより火力発電所がフル稼働したものの、道内の火力発電所は完成後30年以上経過したものがほとんどであり、電力供給の懸念について指摘した経緯もある。北電は、地震の影響で停止した発電所を順次稼働しているが、今後しばらく電力の安定</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>供給について不安は払拭されないままである。今回経験したことによる課題と今後について以下伺う。</p> <p>① 忠類総合支所では非常用発電機が用意できなかったと聞く。業務は遂行できたのか。支障が生じた業務と今後の対応は。</p> <p>② 今回の停電により酪農業において、生乳32tの廃棄が生じている。搾乳作業などには電気は不可欠であり、JAと協力し自家発電機を導入する酪農家に一部補助するなど支援を考えてはどうか。</p> <p>③ 今回の停電時の町内の給油所の稼働状況と自家発電機の設置の有無及び国・道の補助制度を活用し、自家発電機の設置を奨励する考えは。</p> <p>④ 泊原発が稼働していればブラックアウトは回避できた可能性が高いと指摘する専門家もいる。電力の安定供給について、今後の原発再稼働も含め、解決に向けた考えは。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。